



# ステップ!!!

福山市立東朋中学校  
第2学年 学年通信

2021年(令和3年)

7月26日(月)

## 『チャレンジウィーク』の体験から何を学ぶ?!

3日間活動した内容をいろいろな職種に置き換えて、自分はどんな場所で、  
どんな仕事ならできるか考える参考にしましょう!

<活動した内容>

- ①事業所へ電話でインタビュー・・・初めての人と話すのが苦にならない関係の仕事。  
待ち時間があり、その時間をどう使うか、何をするか自分の計画的であるような仕事。  
電話が1度でつながらなかったり、時間をもてあまして遊んでしまった人もいました。
- ②作業活動・・・暑い中、寒い中、雨の中、現場に出て作業する関係の仕事。  
校内での様々な体力勝負の作業活動、日頃できない時間のかかる作業を他学年の先生方にも協力してもらいました。突然の雷雨で内容を変更があったり、日頃してない場所は、かなり汚れていたし、分別が大変なゴミも色々あったけど、「じっとしてるより、こっちが好き!」と言った人もいました。
- ③個人面接練習(来年度高校の入試対策として)・・・販売など人を相手にする関係の仕事、自分の言いたいことがきちんと言える。または座ってする事務系の仕事。  
\*名前、出身中学校、住所、保護者の名前、正しく書けるように何度も確認したのにまだ書けない人がいました。「1学期頑張ったこと」「そこから学んだこと」「2学期どう生かすか」という内容についてメモを作成しました。文字について、読みやすい文字で書ける人が増えてきましたが、まだまだ、小さすぎたり、薄かったり、読みとれない字の人がいます。ハネ、トメなどをきちんと書くように意識しましょう。受け答えはずいぶんできるようになりましたが、座り方(姿勢)がきちんとできない人や面接者と視線が合わない人がいたようです。
- ④ Chromebook を使ってレポート作成・・・オフィスでパソコンを使う関係の仕事  
「SDGS を実践している企業」というレポートを作成しています。完成は夏休みです。  
使い慣れている人とそうでない人で時間的な差が出ていますが、今後の学習に必要なスキルなので、身につけていきましょう。
- ⑤「実習ノート」の作成・・・「毎日の活動の感想と気づき」「インタビューのまとめ」「お礼の手紙下書き」これまで身につけた文章力です。さらに、相手に読める字を書く、漢字を使う、正しい手紙の書き方など。ノート自体を無くした、忘れたといった人もいました。

**学習端末(Chromebook)利用確認書、各家庭で話し合い、署名していただいたと思います。今からの社会では、便利な反面、被害者になったり、使い方によっては、加害者にもなったりもします。先日行った、保護者対象のミニ講座「家庭で気をつけたいスマートフォンの利用について！」の内容を掲載します。**

(略) 一つだけハッキリしているのは、現代社会でスマホは、なくなならないということ！ Chromebook を持った今、SNS やインターネットから離れる生活はない。今の流れからだ子どもに持たせるしかない。私たちが子どもだったとき「インベーダーゲーム」「ファミコン」が流行した。そのたびに大人たちは、そんなことをしている人が大人になったら、ろくな人にならない」といった。それをしていた私たちは、ろくな人になっているか？「テレビに子もりをさせる親」もそんなことをしていたらと言われた。その時代その時代に新しい物が出てくると「そんなことをしていたら・・・」と大人たちは言うが、新しい物をどう受け入れどう扱っていくかが問題なだけなのだ。

例えば、スマホやパソコンを開発した最先端の親たち、ステーブ・ジョブズは、開発した自社のアイパッドを自分の子どもには持たせなかった。ビル・ゲイツは、我が子が16才になるまで、スマホを持たせなかった。この事実を皆さんは知っていましたか？なぜ、彼らは、自分が開発した便利な道具を自分の子どもに持たせなかったのか？スマホやパソコンの開発は、自分のもうけ。それ自体は便利でしかも世の中が求めている金儲けになる。でも、脳の発達にはプラスにならないから、我が子には持たせなかった。そう言うことを知った上で、あなたは、どうやって我が子にスマホを持たせるか？(略)何かを検索して調べる時「性的な内容」「生死を問う内容」「誰かをおとしめる内容」をたまたま見てしまう確率はどれくらいだろうか？偏った内容を検索しているとより偏ってしまう。そしてそれが世の中の全てだと子どもは思ってしまう。判断する。思考の偏るのが心配。では偏りをどう防いだらいいのか？(略)未成年者が、犯罪に巻き込まれたり、法に触れないようにするための使い方を教えていく必要がある。「スマホを使う責任」間違ったら、一生困ることを具体的に子どもに教える。「写真」ほとんどが位置情報がわかる。編集されても困らないものをUPする。自分がUPした写真や加工したものが大変なことになることがある。裁判で訴えられ加害者になったら、それを消すのに、150万円～200万円かかる。子どもが勝手に写真投稿を始めたら、200万円以上の預金があるか通帳を見る。小遣いをくれといったら、今してことで、将来困らないようにあなたのために貯金しているという。それでも表のものを消すだけでダークサイトのものは消せないから、また出てくる可能性がある。写真投稿すると一生ヒモがつく(そのことがつきまとう)コトを覚悟しないといけないことを教える。就職時期(高3・大4)になって、会社から内定をもらう。同意書の提出を求められる(不適切な行動がある場合、内定を取り消す)会社はネットパトロールをする。過去に(小学校・中学校・高校)人を中傷したり、不適切な内容を投稿していないかチェックする。発見すると「会社に迷惑がかかる」と言う理由で内定取り消しをされることがある。入社してから同様のことがあると会社は億単位の賠償が必要になるからだ。1度UPしてしまうと消せないのがネットの怖さ。でも、今からの時代使っていないといけない。活用する時代へ自分のためになる正しい使い方をしていく賢さが必要になる。さらに依存症の問題・・・。(略)

講演内容に興味のある方は、次回「ミニ講演会」に是非参加してください！！